

シグマシュレッダ 安全性のお知らせ

Safety & Ecology

Q ご存知ですか？

2007年8月17日 経済産業省より、改正・電気用品安全法が
公布されました。

2007年9月17日 同省令が施行されています。

A シグマシュレッダは安全です！

現在発売中のシグマシュレッダ SGX-Rシリーズ・SGX-Cシリーズ は、全ての製品が改正電気用品安全法の基準に適合しています。

事務機器／文具の業界団体であるJBMA/AJSAが制定した安全ガイドライン(略称)にも準拠しています。

さらに当社独自の安全基準を設け、安全対策に配慮した設計になっています。お客様には、安心してお使いいただけるシュレッダとなっております。

警告シール

電気用品安全法の指定項目を掲載した警告シールを投入口周辺に貼付。



投入口の安全性

試験指を投入口へ90N(約9kg)の力で押し込み、カッタまで届かないことを確認。



このシュレッダは、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。

見やすい操作ボタン

メインパワーオフ機能を備えた電源スイッチを、操作しやすい位置に設置。操作パネル周辺はカラーユニバーサルデザインにも配慮されており識別がしやすくなっています。ストップ/リバースボタンは周囲より浮き出して設置され操作しやすく緊急時にも安心です。



開口部の安全性

内部にドア開き確認用の接触型センサを搭載。センサに規定の試験器具を押し当てても接触(機能)しないことを確認。

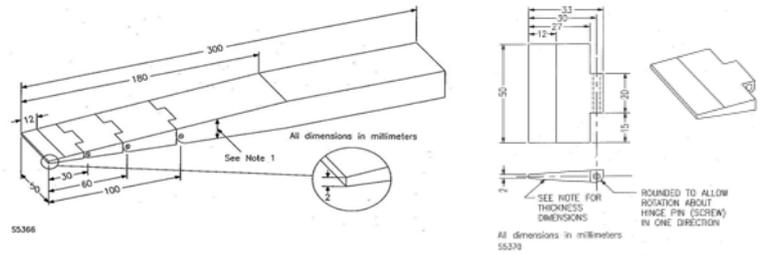


試験1. 細断部に対する試験指(電気用品安全法基準指定のくさび型プローブ)を用いた接触等の試験

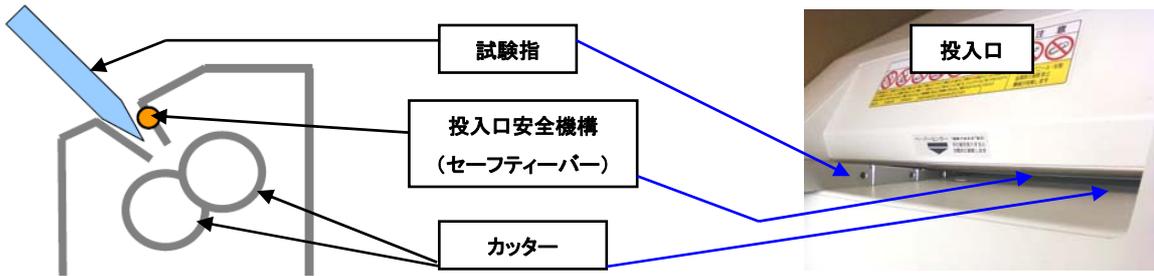
【方法】試験指<図1>を投入口へ90N(約9kg)の力で押し込み、カッターまで到達しないことを確認。

【結果】投入口の自社基準による設計により、試験指がカッターまで届かず合格。<図2>

<図1> 試験指(くさび型プローブ)



<図2> 投入口押し込み試験

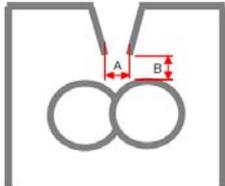


投入口寸法基準

< 各寸法位置説明 >

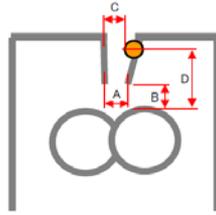
- A : 投入口最小隙間
- B : 投入口最小隙間からカッターまで(最短距離)
- C : 投入口安全機構部隙間
- D : 投入口安全機構からカッターまで(最短距離)

A : 3mm以下
B : 50mm以上



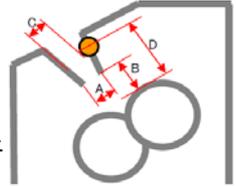
(パーソナルタイプ・デスクサイド 標準タイプ)

A : 5mm以下
B : 30mm以上
C : 10mm以下
D : 55mm以上



(デスクサイド パワフルタイプ)

A : 5mm以下
B : 80mm以上
C : 10mm以下
D : 100mm以上



(フロアタイプ)

本体高さ750mm未満の製品

本体高さ750mm以上の製品

試験2. 安全インターロック解除の制限

【方法】試験指<図3>を該当部へ押し当て、接触(機能)しないことを確認。

【結果】ドア開検知用の開口部寸法小により試験指が接触せず合格

<図3> 試験指(関節付接触プローブ)

